

健康医療学部看護学科
履修系統図

※[]は履修単位数、◎必修科目

	1年次 (第1・第2セメスター) 看護職に必要な コミュニケーションスキルを 身につけます。	2年次 (第3・第4セメスター) 身体の構造や 健康維持についての メカニズムを学びます。	3年次 (第5・第6セメスター) 臨床の現場での 実習を通しての 実践能力を身につけます。	4年次 (第7・第8セメスター) 実践能力に 研究成果を活かし 国家試験合格を目指します
リベラル アーツ	導入教育 ◎2キリスト教概論 ◎2地域文化論 ◎2基礎演習 ◎2プレゼンテーション ◎2情報処理基礎 ◎2日本語表現リテラシー ◎2日本語リテラシー [2]日本語表現リテラシー			[◎2]宗教学
	外国語を学ぶ領域 [2]英語 I [2]英語 II [2]英語コミュニケーション [2]英語 (TOEIC) II [2]ドイツ語 [2]ドイツ語コミュニケーション [2]英語 (TOEIC) I			リベラルアーツとは 広く豊かな教養を身につけると同時に、 コミュニケーション能力を身につける ための科目です。
専門 教育 科目	専門導入科目 [1]看護教育のための生物基礎 [1]看護教育のための化学基礎	専門基礎科目 ◎2健康医療総論 ◎2解剖生理学 II ◎2病態学 I ◎2病態学IV ◎2生命と倫理 ◎1栄養学 ◎2病態学 II ◎2病態学IV ◎2人間発達学 ◎1微生物学 ◎2病態学 III ◎2薬理学 ◎2解剖生理学 I ◎2薬理学		
	人間と健康 ◎2健康医療総論 ◎2解剖生理学 II ◎2病態学 I ◎2病態学IV ◎2生命と倫理 ◎1栄養学 ◎2病態学 II ◎2病態学IV ◎2人間発達学 ◎1微生物学 ◎2病態学 III ◎2薬理学 ◎2解剖生理学 I ◎2薬理学			
	環境と健康 ◎1社会福祉論	◎1保健統計学 I [1]保健統計学 II ◎1公衆衛生学 ◎2疫学	[1]保健医療福祉行政論 II ◎1保健医療福祉行政論 I	
	看護の基本 ◎2看護学概論 ◎2回復促進援助論 ◎2看護過程論 ◎2日常生活援助論 ◎1ヘルスアセスメント ◎1看護倫理	◎2看護過程論 ◎1看護倫理	◎2看護学実習 II	専門教育科目とは 看護学を理論と実践の両面から探求するための科目で、 それぞれの専門分野の統合を図ります。
	実習 ◎1基礎看護学実習 I	◎2成人看護学概論 ◎2成人看護援助論 I ◎2成人看護援助論 II	◎3成人看護学実習 I ◎3成人看護学実習 II	
		◎2高齢者看護学概論 ◎2高齢者看護援助論	◎1高齢者看護学実習 I ◎3高齢者看護学実習 II	
		◎2小児看護学概論 ◎2小児看護援助論	◎1小児看護学実習 I ◎1小児看護学実習 II	
		◎2母性看護学概論 ◎2母性看護援助論	◎2母性看護学実習 I ◎1小児看護学実習 II	
		◎2精神看護学概論 ◎2精神看護援助論	◎2精神看護学実習 I ◎2精神看護学実習 II	
		◎2在宅看護学概論 ◎2在宅看護援助論	◎2在宅看護学実習 I ◎2在宅看護学実習 II	
	看護の統合・看護の発展 ◎1医療安全論 ◎2地域保健学 ◎1家族看護論	◎1統合看護論 ◎1看護管理論 ◎1チーム医療論 ◎1災害看護活動論 [1]リハビリテーション看護 [1]緩和ケア論	実習 ◎2統合看護実習 ◎1へき地看護活動論 ◎1国際看護活動論 [1]救急看護 [1]看護教育論	
		公衆衛生看護 [2]公衆衛生看護学概論 [1]公衆衛生看護学実習 II [1]公衆衛生看護学実習 I [1]公衆衛生看護学実習 II [1]公衆衛生看護学実習 II [1]公衆衛生看護学実習 II [1]公衆衛生看護学実習 II [1]公衆衛生看護学実習 II [1]公衆衛生看護学実習 II [1]公衆衛生看護学実習 II	実習 [1]公衆衛生看護学実習 I [3]公衆衛生看護学実習 II	
		看護の研究 ◎2看護学研究法	◎2看護卒業研究	